

第 142 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時 : 2026 年 5 月 21 日 (木) 10:00~12:00

2. 場 所 : オンライン会議 (Teams)

3. 出席 12 名、欠席 25 名 (役職順／所属順、敬称略)

	役割	氏名	所属学協会	出欠
1	議長	中野 智仁	日本技術士会/日本原子力学会	出席
2	副議長	藤木 篤	日本工学教育協会	欠席
3	副議長(副)	金光 秀和	日本機械学会	欠席
4	幹事	竹居 信幸	日本技術士会	出席
5	幹事(副)	鈴木 賢太	日本工学教育協会	出席
6	委員	皆川 勝	公正研究推進協会	出席
7	委員	吉開 範章	公正研究推進協会	出席
8	委員	横山 明彦	電気学会	欠席
9	委員	横山 真吾	電気学会	出席
10	委員	森下 壮一郎	電子情報通信学会	出席
11	委員	木下 宏揚	電子情報通信学会	
12	委員	伊藤 和也	土木学会	
13	委員	三輪 準二	土木学会	
14	委員	鈴木 慎一	日本化学会	出席
15	委員	大場 恭子	日本原子力学会	欠席
16	委員	平田 京子	日本建築学会	出席
17	委員	吉田 和行	日本非破壊検査協会	
18	委員	村田 裕幸	日本マリンエンジニアリング学会	
19	学識委員	仙田 満	日本工学会フェロー	
20	事業担当理事	蘆立 修一	日本工学会理事会	出席
21	アドバイザー	長島 昭	元議長	
22	アドバイザー	池田 駿介	元議長 日本工学会フェロー	
23	アドバイザー	大輪 武司	元議長	
24	アドバイザー	日高 邦彦	元議長 電気学会	欠席
25	アドバイザー	三木 哲也	元議長 電子情報通信学会	
26	アドバイザー	桑江 良明	元議長 日本技術士会	
27	アドバイザー	札野 順	元議長 日本工学教育協会	
28	アドバイザー	松久 寛	元議長 日本機械学会	欠席
29	アドバイザー	草柳 俊二	元議長 土木学会	
30	アドバイザー	南 裕二	元議長 電気学会	
31	アドバイザー	石川 孝重	前議長 日本建築学会	出席
32	オブザーバ	吉沢 清晴	日本技術士会	
33	オブザーバ	岩西 伸介	土木学会	
34	オブザーバ	鎌田 潤一	日本建築学会	
35	事務局	井上 雅則	日本工学会事務局	代理出席 木暮 賢司

4. 議題

- (1) 前回議事録（案）について
- (2) 2026年度技術倫理協議会構成について
- (3) 2026年度（第22回）のシンポジウムについて
- (4) 会員学協会活動報告について（報告）
- (5) 次回以降協議会日程について（審議）
- (6) その他

5. 議事

- (1) 前回議事録（案）について（審議）（技術資料142-3-1,2）
異議なく承認された。
- (2) 2026年度技術倫理協議会構成について
石川前議長はアドバイザーに就任する。
名簿は木暮様アップデートをお願いします。
協議会の運営方法について、日本工学会事務局長と中野議長で協議予定
- (3) 2026年度（第22回）のシンポジウムについて
中野議長より、テーマ検討、シンポジウムに構成案についての説明があり、各委員より意見が出された。

- (4) 会員学協会活動報告について（報告）（技倫資料142-5）

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	3月30日（月）に理工学系分科会を開催した。主な議事は以下の通り。 1. 教材単元の内容等について以下の点を確認した。 1) 「情報技術に関する倫理」の改訂について、原稿が完成してAPRINとして承認手続きが完了したこと、英語版の作成を事務局で進めている。内容としては、情報ネットワークインフラに関わる倫理、研究インテグリティ、オープンソースの漸弱性、新規技術に関する倫理などが新たに加わっている。 2) 新単元「企業の技術開発」に関して、単元「企業活動において技術者が起こしうる不正とその対策」として、品質不正に関する事例を追加して原稿が完成したことから、今後、査読の段階に進める。 3) 新単元「農学分野の技術者倫理」について、再査読への修正対応を完了したことから、分科会を含めて最終的な承認を得てゆく段階である。内容としては、農学分野全般の倫理と特徴、作物・園芸・畜産・基盤・機械・食品・林業・水産の8分野の事例がまとめられている。 2. その他の議事・報告 1) 「自己盗用」に関する既存単元の調整に関して、単元「メンタリングとメンター、メンティー」における「重複（二重）投稿」に関し注釈を追加することで対応する方向で進めることとなった。 2) 2月6日（金）に東京大学において開催された全国公正研究推進会議における理工学系分科会について、「技術安全保障に求められる研究開発

	学協会名	報告概要
		ガバナンス」と題して、「技術安全保障に求められる技術流出対策」と「海外の事例から学ぶ機微技術問題」の講演を中心に開催したことが報告された。 3)2025 年度の事業報告における、分科会としての今年度報告と次年度計画について報告された。次年度は、AI の研究開発への影響、技術安全保障、well-being に基づく倫理などについての教材開発等を検討する。 4)新たに開発している単元について、セミナー等を開催することを検討する。
2	電気学会	1. 3/13 に東北学院大学五橋キャンパスにて開催された全国大会において、倫理委員会主催のシンポジウム「信頼される AI」と技術者の役割：AI を実用化する際の課題」が開催され、東京農工大の北原名誉教授、東芝の山内氏及び三菱電機の遠山氏による講演が行われた。講演後には、日立コンサルティング（慶大特任教授兼）の美馬氏のモデレーションのもと、パネルディスカッションが実施され、テーマに関して活発な意見交換が行われた。 2. 3/25 に開催された倫理委員会において、アドホック倫理委員会活動検討 WG での検討結果を踏まえ、立ち上がった各 WG やチームの内、①研究公正 WG からは、6 月の倫理委員会における承認を経た上で、7 月にキックオフを予定していること、②特集号チームからは、電気学会誌への特集号に関する記事提案用紙を上程し、メール審議を予定していること、が報告された。
3	電子情報通信学会	2026/06/2, 3 研究会開催予定 立教大学 池袋キャンパス 太刀川記念館
4	土木学会	
5	日本化学会	
6	日本機械学会	
7	日本技術士会	2026/5/13 に倫理シンポジウム、2026/3/18,5/14 に委員会を開催した。 ・2026/5/13 に社会資本（インフラ）のマネジメントをテーマとして倫理シンポジウムを開催した。八潮市の道路陥没事故、東京都下水道、J R 東日本の施設について、それぞれのインフラマネジメントを技術面から紹介いただき、技術士のコンピテンシーと比較し、技術士に何が求められているか、何をすべきかについて議論した。 ・技術士倫理要綱の普及／啓発を目的として、イラスト等を活用した視覚的にわかりやすい手引きの作成を検討している。 ・技術士の継続研鑽として、倫理教材の拡充（過年度に 10 事例製作）を計画している。 ・11 月の技術士全国大会（金沢）で統括本部と地域本部の倫理に関する情報連絡会を開催し、さらに、外部の講演者を招き、アドバイスをいただくことを計画している。
8	日本原子力学会	2026/2/26 に倫理研究会、3/11 に春の年会での企画セッション、3/3,4/23,

	学協会名	報告概要
		5/19 に委員会を開催した。 ・倫理研究会は品質不正をテーマに品質保証研究会と情報交換を行った。品質保証研究会が作成している不正を発生させないガイド（品質コンプライアンス案件の分析活動と 26 項目の抑止策）と倫理について議論を行った。 ・2026 春の年会（熊本、3/11-13）での企画セッション（3/11 開催）として、「東電福島第一原発事故から 15 年の節目で考える倫理的な行動」をテーマに企画を検討している。東電福島事故から 15 年の節目を迎えるにあたり、倫理規程の改定をはじめとする、倫理委員会がこれまで行ってきた活動を振り返るとともに、先行して再稼働を果たした原子力事業者として、九州電力より会社全体の安全文化醸成への取組みとともに、発電所における現場での安全文化育成・維持や安全性向上につながる実践的な取組みについての講演と総合討論を通じて、東電福島事故を踏まえて醸成されてきている組織文化と倫理的な行動について考える機会とし、今後の原子力安全の向上に資することを目的としている。この視点から、企業不祥事に与える組織文化の重要性と個人が取るべきふるまいについてご講演いただき、議論した。 ・中部電力（株）原子力発電所の基準地震動策定に係る不正行為事案に関して、検討検討をしている。中部電力（株）原子力発電所の基準地震動策定に係る不正行為事案に関して、原子力学会、原子力学会倫理委員会として、以下の声明を発出した。 原子力学会：中部電力株式会社浜岡原子力発電所における基準地震動策定に係る不適切事案について（声明） 日本原子力学会 原子力学会倫理委員会；iken20260120. pdf （以上既報） その後、委員会内に本事案を検討するワーキングを立ち上げ、倫理委員会としての提言を発出することを計画している。
9	日本建築学会	・4月7日に倫理委員会が開催され、以下の活動報告があった。 →倫理基本問題検討小委員会：建築倫理に関する根源的・哲学的なテーマとして、「AI と知的財産」「法と倫理」「地球環境の変化と倫理」の3つをテーマとしたWGを設置し、検討を進める旨の報告があった。 →倫理教材開発WG：動画教材「先達に聞く」の第4作目が公開となった旨の報告があった。 →広報WG：8月6日開催の企業向け研修会プログラム「事例から学ぶ建築技術者倫理研修会」の企画内容について説明があった。 ・2月26日に倫理委員会広報WGが開催され、企業向け研修会プログラムの企画検討を行った。
10	日本工学教育協会	4月24日に技術者倫理調査研究委員会 2026 年度第1回定例会を開催した。主に次の二点について、検討を行った。 1. 学術誌『工学教育』第73巻1号から6号にかけて、Well-being を共通テーマとして連載された「サロン」欄が、日本工学教育協会ウェブサイ

	学協会名	報告概要
		ト上にて、PDF 形式で一般公開されることとなった。 https://www.jsee.or.jp/jsee/wp-content/uploads/2026/04/66f049a22cd2d31e0ad607ed7953f9c6.pdf2 2. 2026 年 9 月 2 日から 4 日にかけて、岐阜大学で開催予定の「日本工学教育協会 東海工学教育協会 第 74 回年次大会」における、技術者倫理調査研究委員会主催のオーガナイズドセッション「高等教育とウェルビーイング（その 3）」の各登壇者の仮題と発表内容について報告があった。
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(5) 次回以降協議会日程について（審議）

次回は 6 月 18 日（木）10:00～12:00 に開催予定

以上